

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

1. 基本情報

| | | | | |
|-------------|--|---------------------------|----------|-------|
| ■事業の担当課 | 農林部農政課 | | ■担当係 | 園芸畜産係 |
| ■評価事業名称 | 農産物販路拡大推進事業 | | | |
| ■評価事業コード | 050100 - 805 | ■会計区分 | 一般会計 | |
| ■総合計画での位置づけ | ■政策 | 03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり | | |
| | ■基本施策 | 03 魅力ある農林業の振興 | | |
| | ■施策 | 02 農産品の高付加価値化と新たな流通の開拓 | | |
| ■事業の種類 | 05 ソフト事業(任意) | | ■政策・業務区分 | 政策 |
| ■法令の根拠区分 | 法令に特に定めのないもの | | | |
| ■法令等の名称 | | | | |
| ■関連計画の名称 | | | | |
| ■事業の概要 | 新たな販路の開拓・拡大を図ることで、農産物の多様な流通を促し、農産物の生産向上を目指す。市場調査や先進事例の視察、先進的な取り組みをしている農業者を招くなどの情報収集業務(マーケティング) | | | |

2. 細事業の活動実績情報

| 細事業コード | 細事業名称 | 事業の対象 | 平成24年度事業計画 | 平成24年度事業量実績 |
|--------|-------------|-------|------------|---|
| 01 | 農産物販路拡大推進事業 | 農家 | | ○コンビニエンスストア向けに加工用レタスを出荷 生産者 4者 栽培面積 約1.5ha 出荷量 約23t ○企業の農場経営を視察 |

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

| | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 | 平成24年度 | 備考 |
|-----------------|--------|--------|--------|--------|----|
| 直接事業費 | | | 166 | 336 | |
| 人件費 | | | 1,865 | 1,967 | |
| その他(公債費・減価償却費等) | | | | | |
| フルコスト | | | 2,031 | 2,303 | |

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

はじめて平成24年度にコンビニエンスストア向けの加工用レタスの生産・出荷が始まった。今後も食品産業との取組を広げ、市場に左右されにくい農業生産を進める必要がある。

問題点・課題等

水稲中心の経営が多く、野菜生産に消極的であるため、意欲ある農業者の発掘が必要である。また、栽培のノウハウが蓄積されていないため、技術指導を含めた産地化への取組が必要である。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小・要改善
- IV. 民間活用・協働事業化
- V. 廃止・休止
- VI. 完了

補足説明

平成25年度は産業連携推進事務に統合。